

全国協議会 ニュース

2012年5月1日発行
第239号

発行所
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒101-0031 東京都
千代田区東神田1-3-4
KTビル3F
TEL.(03)5823-6360
FAX.(03)5823-6365
発行責任者:中野勝博
http://www.marrow.or.jp/
E-mail:office@marrow.or.jp

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655

3年目の春を迎えて ありがとうさくら

骨髄バンクを介した骨髄移植
一万例と、さい帯血バンクを介
したさい帯血移植五千例への到
達を記念して、2009年早春
から全国各地で取り組まれた
「ありがとうキャンペーン記念
植樹」。

その後、世の中にも、また私
たちを取り巻く環境にも様々
なことがありましたが、いま、3
年目の春を迎えることができま
した。

各地の「ありがとうさくら」
の様子をお伝えいたします。

◆**蔵本公園(徳島県)**
徳島では、当時全国で3番目
にありがとうサクラの植樹をし
たように覚えております。藩主の
蜂須賀家が代々徳島城で育ん
でいた蜂須賀桜を保存会からい
ただき、骨髄バンク認定病院の徳
島大学付属病院近くの蔵本公園
に植樹しました。

保存会の方も参加していただ
き、植樹や育て方のコツなどを
教えていただきましたが、今年
も残念ながら花びらを見ること
はできませんでした。



◆**ドナー宅(岐阜県)**
「ありがとうキャンペーン」に
贈呈いただいた桜の苗木50本が
和歌山、奈良、金沢、そして、
愛知県下の家庭や病院へと植樹
されました。岐阜大学付属病院
の苗木もすくすくと成長してい
ます。ドナー宅への植樹という



◆**大和民俗公園(奈良県)**
2009年に奈良県大和郡山
市の大和民俗公園に植樹した記
念の桜は、「せんとくん」に見
守られながら、まだ若木で小さ
な蕾をつけています。(4月6
日現在)

◆**聖路加病院(東京都)**
東京からのありがとうさくら
の花便りは葉桜便りです。
2009年3月、4月に聖路加
病院小児科病棟前、東大医科研
病棟横の緑地に植えさせていた
だいた八重桜福寿の苗木具合
を4月半ばに見てきました。



◆**自治医科大さいたまセンター(埼玉県)**
背丈は2m50cmぐらいに伸び
ていますが、芽の数は数個がふ
くらみかけている状況です。花

◆**帝京大学病院(東京都)**
2009年11月、帝京大学病
院の敷地内に植えた一本の桜の
苗木。患者会の名前から「しら
たま桜」と名づけ、その成長を
見守ってきました。

◆**青洲の里(和歌山県)**
骨髄移植一万例・さい帯血移植
五千例ありがとうキャンペーン
全国リレー記念植樹会の二
番目のたすきを沖繩県から受
け、和歌山県紀の川市(医療分
野で偉大な功績を残された華岡
青洲生誕の地)に植樹したのは
2009年2月11日の事でした
その時、植樹した3本の桜の木
私は、1.2mぐらいのかわい
い苗木と、全国協議会ニュース
で紹介させていただきました。
4回目の春を迎えた苗木は、大
きいものは2mを越す程に成長
し、写真のようにしっかりと花を
咲かせ、見る者の目・心にはつ
つとした温かさを与えてくれて
います。植樹会の時、この桜の木
が枝を伸ばし花を咲かせたの
を望む時、すべての患者さんが
生きるチャンスを得られるよう
になることを強く願ったことに
少しづつ近づいているように思
います。植樹した桜を見てこれ
からも頑張る力をもらいました
4回目の春、いいお花見になり
ました。(ひこばえ 山本)

◆**菊水酒造(新潟)**
当社は3本の苗木を植樹し
ました。3本のうちの一本は、
当初、植樹した場所では発育が
悪く、少し日当たりのよいとこ
ろに移植させていただきまし
た。少し生育不良で、幹は1cm強
高さも2mぐらいになっていま
す。



◆**自治医科大さいたまセンター(埼玉県)**
背丈は2m50cmぐらいに伸び
ていますが、芽の数は数個がふ
くらみかけている状況です。花

八重桜はもともと開花が遅く、
4月下旬から5月はじめのよう
ですが、福寿はとても美しい
花を咲かせる桜と聞いていたの
で来年こそは花を見たいと期待
しています。(東京の会 新田)

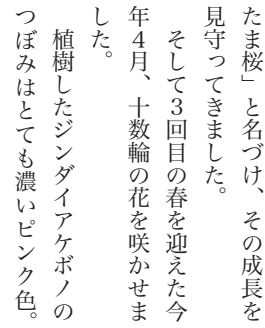


◆**自治医科大さいたまセンター(埼玉県)**
背丈は2m50cmぐらいに伸び
ていますが、芽の数は数個がふ
くらみかけている状況です。花



◆**自治医科大さいたまセンター(埼玉県)**
背丈は2m50cmぐらいに伸び
ていますが、芽の数は数個がふ
くらみかけている状況です。花

◆**自治医科大さいたまセンター(埼玉県)**
背丈は2m50cmぐらいに伸び
ていますが、芽の数は数個がふ
くらみかけている状況です。花



◆**自治医科大さいたまセンター(埼玉県)**
背丈は2m50cmぐらいに伸び
ていますが、芽の数は数個がふ
くらみかけている状況です。花

◆**自治医科大さいたまセンター(埼玉県)**
背丈は2m50cmぐらいに伸び
ていますが、芽の数は数個がふ
くらみかけている状況です。花

東日本大震災 被災者支援基金

3月21日~4月20日 (合計8,236,670円)
嶋津 桂子 現金 3,000円
NPOサカエ会 現金 30,000円
いづか難のまつり募金箱 現金 162,375円
かごしま骨髄バンク推進連絡協議会 現金 360円
鹿野屋登録会場 現金 360円
ライオンズクラブ国際協会334-B地区 現金 95,311円
第2R第2Z (敬称略)

給付件数累計 29件 合計4,983,965円

基金積み増しにご協力ください

●郵便振替 (通信欄に震災支援と記載)
特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会
00150-4-15754

●銀行の場合
特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会
ゆうちょ銀行 008店 普通 4799951



骨髄バンクの最新情報をお知らせする

◆**公益財団法人への移行と新評議員・理事・監事**
財団は1月に認定を受けていましたが、4月1日に登記を行い、「公益財団法人骨髄移植推進財団」として業務を開始しました。新公益法人制度において理事会は、①法人の業務執行の決定②理事の職務執行の監督③代表理事(理事長)選・解任―を職務とする機関となり、評議員会は理事、監事の選・解任等の法律及び定款で定められた事項を決議する機関となります。また、評議員、理事の定数も削減されました。

◆**平成24年度事業計画・予算について**
3月21日(水)に開催された第42回通常理事会・評議員会で、平成24年度事業計画と予算が承認されました。

本年度の事業計画は、1. 更なるドナー登録者の拡大のための施策、2. コーディネート期間の短縮に寄与する施策、3. コーディネート実施体制を整備・強化するための施策、4. PB SCTを含むコーディネートを円滑に本格稼働するための施策―を4つの柱としています。昨年度は移植件数が大きく伸びましたが、移植率が6割程度という状況は変わりません。これには財団内外の様々な要因がありますが、財団としてはPB SCTの本格稼働を中心にシステムやコーディネート体制の改善を行い、より多くの移植実現を目指して事業を進めていきます。

◆**平成23年度の移植数、ドナー登録者数等の実績について**
平成23年度の移植数は1,272件で、平成22年度(1,192件)より80件、過去最高だった平成21年度(1,232件)より40件の増加となりました。患者さんの登録数は前年度の2,684人より117人多い2,801人(国内2,206人、海外595人)でした。

一方、ドナー登録者数は、平成24年3月末現在で407,871人です。年

骨髄バンク NOW

(財団マンスリー JMDP (4月13日発行)より抜粋)

間の新規登録者数は41,763人で、全国33の県で前年度を上回りました。前年度36,667人から5,096人、13.9%の増加です。登録窓口別に比較すると、献血併行型登録者が23,614人(前年度比943人増)で最多。次いで日赤固定窓口(献血ルーム等)が16,458人(前年度比4,516人増)、集団登録者771人(前年度比283人減)でした。

◆**全国大会2012について**
9月15日(土)に宮城県仙台市の太白区文化センターで開催する今年度の全国大会は、さい帯血バンクネットワークとの共催となりました。

◆**3月の区別ドナー登録者数: 献血ルーム / 1,553人、献血併行型集団登録者 / 1,905人、集団登録者 / 16人、その他 / 74人**

◆**日本骨髄バンクの現状(平成24年3月末現在)**

	2月	3月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,372	3,548	407,871	537,859
患者登録者数	239	251	3,046	35,359
骨髄移植例数	104	126	-	14,051
20歳未満ドナー登録者	-	179	17,205 ¹⁾	-
51歳以上ドナー	260 ²⁾	160 ³⁾	26,902 ⁴⁾	-

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。
*1) 17年3月~ *2) 51歳以上ドナーの延長数 *3) 51歳以上ドナーの新規登録数 *4) 17年9月~

みんなでこいへ!!
はやぐかだりへ!!

(皆さんでおいで下さい 早く仲間に入って)

2012全国骨髄バンクボランティアの集いin青森

様々な企画を予定しています。みなさん楽しみにいらしてください!

日時 2012年6月2日(土) 13:30~17:30
場所 ホテル青森 孔雀の間
(青森県青森市堤町1丁目1-23)

◆式典(挨拶、感謝状贈呈)
◆読み聞かせ「いのちのメッセージ」
患者さんとドナーさんのお手紙等の朗読をします
◆パネルディスカッション
「つなげよう・伝えよう いのちのメッセージ 東北の地 青森から」
コーディネーター 大谷貴子氏
(前全国骨髄バンク推進連絡協議会会長)
パネラー 志賀としえ氏(骨髄移植経験者)
丹後まみ子氏(患者家族)
飯塚正子氏(つがる市立瑞穂小学校養護教諭)
小野寺将昭氏(ドナー経験者)

◆ミニコンサート
オペラ歌手:白岩貢氏 ピアノ演奏:竹内奈緒美氏

慢性活動性EBウイルス感染症(CAEV)署名を厚生労働省へ提出

全国協議会では、236・237号でも紹介したとおり、CAEBVに関する署名活動に取り組みだしました。皆様の積極的な活動により集まった皆さんの署名は、患者会を通じて厚生労働省へ提出されました。ご協力に感謝申し上げます。

署名運動を主宰した患者会代表の奥中さんから、お礼のメッセージを頂戴しました。

私たち患者会の署名活動にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。以前全国協議会ニュース及びホームページでも、お願いさせていただいたのですが、急に提出日が早まり、皆様にはご迷惑をおかけし、申し訳ありませんでした。

去る二月二十八日、無事第一弾の署名を厚生労働省へ提出してきました。皆様がたくさん届けてくださったお陰で、この日は全部で16,997筆でした。ずしつと重かったです。

厚生労働省の担当の方のお話の中で、EBウイルスDNA定量検査の保険適応実現に向け、これからやるべきことの確認が出来ました。病気の周知に向けても、また新たな目標ができました。その後、記者クラブにて会見もさせていただき、翌日早速、共同通信社より配信された記事が、日本経済新聞朝刊に掲載されました。

今後も要望の実現に向け、活動を続けていきます。まだお手持ちの分は、また追加で提出させていただきますので、捨てずにお送りいただくと助かります。署名活動にご協力くださった皆様、本当にありがとうございます。(CAEBV患者会 SHAKE 奥中)

ブロックセミナー報告

●東海北陸ブロック
3月25日、名古屋市東区IMビルにて東海北陸ブロックセミナーが22名の参加のもと開催されました。各地、加盟団体から活動状況や問題点の報告がなされ、岐阜の会より、「昨年の全国協議会ボランティア大会で多くの市民に骨髄バンクが広まり大会を終えて今尚、その効果が残っており、各地で開催される事が一層の広がりを作っていく事を感じています」と、経過報告がありました。

続いて、名古屋大病院内に整備される、難病の子供とその家族を支援する「ドナルド・マクドナルド・ハウス」の設立について、名古屋大学医学部付属病院 脳神経外科 若林俊彦教授よりご講演頂きました。先生より、「既にこの地域で

共催イベント 北から南から

東京都文京区
映画「生まれる」上映会
& トークショーを開催



桜が満開な4月6日、東京都文京区シビック小ホールにて、共催イベントとして、映画「生まれる」の上映会とトークイベントが開催されました。映画「生まれる」は、「子供は親を選んで生まれてくる」という胎内記憶をモチーフに、命を見つめる4組の夫婦の物語を通して、自分たちが生まれてきた意味や家族の絆、命の大切さ、人との繋がり、そして「生きる」ことを考える、ドキュメンタリー映画です。骨髄バンクへの関心と理解ある来場者が多く、トークショーでは司会の町田聖さん、ゲストの野田聖子衆議院議員、映画の監督の豪田トモさんが生種医療や骨髄移植についても触れ、涙と笑いに包まれた会場では参加者の方々とそれぞれの想いを共有できたひと時でした。(株式会社ワークスエンターテインメント 古賀)

各地のより 飯塚 筑前いづか 雛のまつり 支援継続に感謝

今年も「筑前いづか雛のまつり」が2月11日から4月2日まで行われました。昨年は「まつり」の期間中に東日本大震災が起これ、例年一般寄付として頂いていたご寄付は、東日本大震災被災者支援基金に頂きました。

今年も実行委員長と相談の結果、「患者本人に手渡しできる被災基金に是非寄付させて頂きたい」という有難い申し出があり、4月11日に会場が集まった募金と共に寄付を頂きました。震災のことが一般の人々の心から現実よりも過去の事件のようになりつつある中、現地ではおそらく現在も震災当時よりもさらに苦しい情勢だと思いま

4月から新メンバーでスタート 全国協議会事務局

本来裏方として、また緑の下の方持的存在で皆さまの活動を支援する立場でありながら、時には表舞台に飛び出したり、思いが強すぎて各方面にご迷惑をおかけすることもありますが、そして「生きる」ことを考える、ドキュメンタリー映画です。骨髄バンクへの関心と理解ある来場者が多く、トークショーでは司会の町田聖さん、ゲストの野田聖子衆議院議員、映画の監督の豪田トモさんが生種医療や骨髄移植についても触れ、涙と笑いに包まれた会場では参加者の方々とそれぞれの想いを共有できたひと時でした。(株式会社ワークスエンターテインメント 古賀)



この4人の配置、「四葉のクローバー」みたく、

「四葉の苦勞」ではありませんよ(笑)!!

6月の青森大会でお会いしましょう!!

医療講演会参加レポート 東大医科附属病院 第14回市民公開医療懇談会 「覚えておきたい輸血の豆知識」

セルプロセッシング・輸血部長 長村登紀子先生

今回は多くの人々の命を救った輸血のお話でした。まず歴史です。輸血は17世紀頃から試みられました。副作用が激烈なことからヨーロッパでは禁止されておりましたが、1901年ウィーン大会のランドシュタインナー先生がABO式血液型を発見し、また1914年には抗凝固剤の発見により保存が可能になり、それから普及していったとのことでした。

日本では、1930年の浜口首相狙撃事件時に、塩田重先生が輸血により救命したのを機に、急速に普及して行つたようです。その後、ライシャワー大使に対する売血輸血で肝炎の感染があり、急速、献血に切り替えられ、現在の安全な体制が確立されて行つたそうです。

これらによって、重大なシヨックは1千万回から10万回に1回、C型肝炎、HIVの感染は抗凝固剤の発見により保存が可能になり、それから普及していったとのことでした。

現在、輸血は、講師の長村先生が医学生だった頃に比べると格段に進歩しているとのこと、ウイルス検査の精度向上および不活化操作による感染症の予防、フィルターで出来るだけ白血球を除去する技術、輸血後のGVHD予防で放射線をかけることなどで副作用は大いに改善されたそうです。

人工血液の可能性の質問がありました。人工は難しく、幹細胞から増やす研究が進められているとのことでした。

第112回理事会報告

4月15日 全国協議会事務局

事務局の綺麗さが保てること間違いなし!! 一番の若手ですがしっかり者。堀 香代子(前列左)……単ひらめき料理のレシピがとにかく豊富。湧き出すアイデアとひらめきを仕事に生かそう。仲本順子(後列左)……協議会ボランティアは20歳代から

参加していましたが、パート事務局員としては4年目。ダジャレ好きなドナー体験者。旧姓山本。黒川紀子(前列右)……勤続は12年。持病の坐骨神経痛も4人体制となつた今、完治に向かえるのか乞うご期待!!

＜協議事項＞

- 名義後援、承認案件
- 2011年度事業まとめ、2012年度事業方針について
- 定款・規程の見直しについて
- 2012年度第1回代表者会議の内容について
- 白血病患者支援協賛自動販売機の提案について
- NPO法人血液情報広場つばさとの共催イベントについて
- 染は100万回に1回以下位の僅かな確率と推定されるそうです。輸血した血液検体は2年間保管され、輸血記録は2年間保管されているそうです。
- また、AB型の血漿成分献血をよろしくとのことでした。
- Rh型については、日本人ではRh(-)は200人にひとり(0.5%程)で、白人の15%と比べ大幅に少ないとのことでした。
- 人工血液の可能性の質問がありました。人工は難しく、幹細胞から増やす研究が進められているとのことでした。

＜報告事項＞

- パート職員採用について
- 法整備のための要望活動について
- 財団関連
- 共催事業について
- 東日本大震災被災患者支援基金活動、受付・給付状況
- 白血病フリーダイヤル受付状況
- 「佐藤さち子患者支援基金」受付・給付状況
- ドナーサポーターダイヤル受付状況

＜今後の予定＞

2012年5月13日 第113回理事会

お詫び

本紙238号(4月1日号)に掲載致しました「医療講演会参加レポート 東大医科附属病院 第14回市民公開医療懇談会」賞血といわれたら、赤血球のお話しは既に第234号(2011年12月1日号)に掲載済みでした。重複しての掲載になりましたこと、深くお詫び申し上げます。

心からのご寄付に 感謝申し上げます

3月21日～4月20日

美濃加茂あじさいライオンズクラブ

現金	10,000円
現金	5,000円
現金	1,340円
現金	25,039円
現金	10,000円
現金	10,000円
現金	5,000円

●白血病患者支援基金

現金	3,945円
現金	5,695円
現金	10,702円
現金	191,470円
現金	6,593円
現金	3,000円

●佐藤さち子患者支援基金

現金	4,987円
現金	8,304円
現金	211,110円
現金	70,000円
現金	20,000円(敬称略)

活動資金の援助をお願いします

銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会